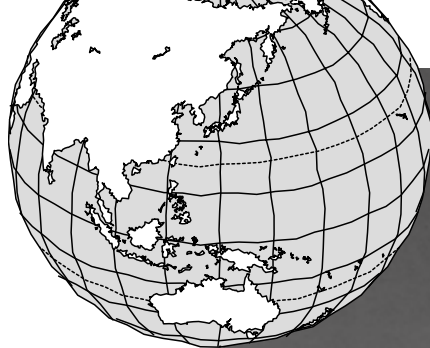




1

授業報告／ユニセフ「One Minute Video」 映像コンテストへの取り組み

報告者 埼玉県立芸術総合高等学校 映像芸術科 教諭 森 俊成 先生

はじめに 「映像教育の重要性」

映像を見るのと創るのとでは大違いである。映像制作をゼロから行うことによって生徒達は様々な思考を働かせアイデアを絞り出す。計画を立案し、絵コンテを描き、友達に演技指導をおこない、カメラを回す。時にはうまくいかない時もあり、もう一度振り出しに戻る。制作を通じ様々な経験をすることで「伝える」事を必死に考える。そして制作した作品が今現在の自分を映し出す「鏡」となるのである。10代の感受性豊かな時期に1本でも映像制作を行えば、その後の人生に大きく影響を与える。なぜなら物事の正しい捉え方や伝え方、他者とのコミュニケーション能力が映像制作には必ず必要であり、これらは社会に出てから最も必要かつ重要とされる要素の1つであるからだ。このユニセフOne Minute Videoコンテストのテーマである「地球市民になろう～見つめよう、自分のこと、地球のこと～」を生徒達は各々の解釈で読み解き、自由な表現で構成していくプロセスにこそ、大きな教育的要素を感じることができる。昨年の第1回目に引き続き、2年目の授業に取り組んだ3ヶ月の記録をここに報告し、私自身の今後における自己研鑽の意味でも授業を振り返ってみたいと思う。

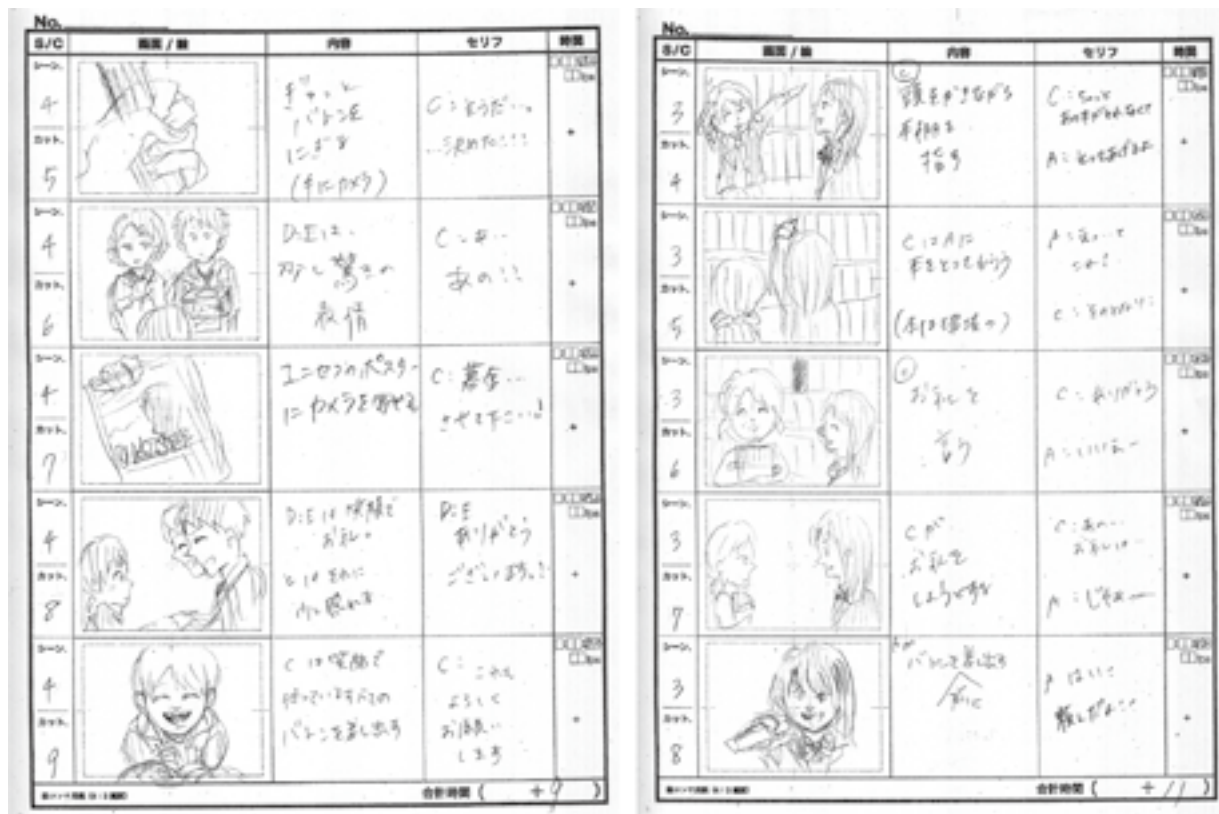
作品企画立ち上げ

生徒にユニセフの理念や活動を教える為には、私自身がもっとユニセフを知らなければならなかった。そんな時、教員向けの映像制作ワークショップの案内が届き、東海大学五嶋先生、駿河台大学間島先生のご指導の元、実際に1分間の映像を制作してみた（※昨春秋）。現場で初めて出会う方々とチームで制作して行く体験で、生徒達の気持ちが大変よく分かった。やはり最初に必要なのはコミュニケーション能力である。実際の授業では、くじ引きでクラス40人を5人ずつ8班のチームに分けた。昨年度は単純に名前の順で振り分けたのだが、今年は公平性とキャストを見てからしっかり企画を立ち上げるスタイルにしたのでくじ引きにした。そしてワークショップで私が制作したビデオと昨年度の受賞作品30本がおさめられたDVDを全員で鑑賞した。一般の大人や大学生の作品はさすがによくできていて高校生達のやる気も喚起できた。そこで最初の課題として企画書を書いてもらう事にした。今年は2年目と言うこともあり実写だけでなく、アニメ描写やCG、または画像の合成といったこともOKとし、技術的に不可能でないかも企画書を通じてチェックすることにした。

絵コンテ制作

映像制作の設計図とも言うべき物に絵コンテがある。またはシナリオ（脚本）も重要な設計図である。今回は全員統一して絵コンテを春休みの宿題で描いてくる事とした。撮影するカットがそのままイラストになっ

ている絵コンテの方が直感的に映像が分かるので、指導する側にとっても良いように思われる。最近では図書館や書店にもアニメの絵コンテ本が置いてあるので、生徒にとっても慣れ親しんでいるものと思われる。イラストの得意、不得意の個人差はあるもの、春休み明けには40作品の絵コンテが提出された。絵コンテにはイラストの他に台詞、テロップ、BGM、時間、などが記入される。特に作品の最初と最後のカットを、気をつけさせた。



生徒による絵コンテ（一部抜粋）

撮 影

シューティングとも呼ばれ一番重要な期間でもあるが、学校の授業では撮影前の準備、撮影、撮影後の編集の3つを大きな柱としてどれも同じ比重で考えるように指導している。しっかりした準備があってこそスムーズな撮影ができるので、班員には同じ班の絵コンテを全てコピーした。そして事前にキャストを決め、内容を理解しておくようにする。教員側から条件として出した事は、必ず全員が誰かの作品でキャストを務めるということである。素人がカメラの前で役者を演じることは非常に恥ずかしく難しい。そして監督はその役者に演技指導をしなければならない。このあたりが映像制作の醍醐味であり一番面白いところでもある。そして一番生徒達が成長できる場面でもある。1班5人の構成は①監督兼カメラマン②音声（マイクブーム）③役者A④役者B⑤レフ板、記録といった感じが標準的であるが単なる分担作業ではなく、全員で制作していくことを推奨した。撮影現場に着いたら、まずはドライリハーサル（カメラを回さないでスタッフ全員が一通りの演技を通して見る）をしてみる。そこで監督のみならず役者やカメラマンも様々な意見を言い、より良い方向性を決めていく。方向性が決まったら実際にカメラを回して行くのだが、一番良くない撮影の方法は全くの絵コンテの通り役者の一言ずつにカメラを回し、その一言が終わったらすぐにカメラを止めてしまう方法である。これでは編集しようとした時に「演技ののりしろ」がないのでうまく繋がらない。それに絵コンテに描かれた以上の事は期待できず、現場にワクワク感やクリエイティブ感が存在しなくなってしまう。

昨年の撮影ではこのような事が多くの班で行われ結果的に撮り直しで多くの時間を費やす結果となった。基本的には役者全員が入る画角LS（ルーズショット）をマスターショットとして撮影し、切り返しやUPはその後に撮影すると編集時、演技がつかないということは無くなり困らなくなる。カットを変えるときのタイミングとしてアクション繋がりというものを昨年度生徒達に教えたが、今年はだいぶ繋がりを意識した撮影ができていたようである。撮影は班員5人に合わせ5回行った。

本校は全国的にも珍しい映像芸術科であるため、ハイビジョンカメラや、アドビプレミアプロという編集ソフトが入ったマッキントッシュパソコンがそれぞれ45台用意されているなど制作環境は大変恵まれている。今回の授業で同時に使用したカメラは班の数と同じ8台である。8台といっても一般校にしてみたらかなり多い台数になるかもしれないが、ビデオカメラの代用として携帯電話の動画カメラ機能が充実しているように思われる。最近の新しい携帯電話のモデルではハイビジョンが標準化されており、マイクロSDカードを経由してパソコンでも編集できる。または考え方を全く変えて、動画でなく静止画として写真をタイムラインに並べ、音楽とテロップをつけるだけでも立派なメッセージビデオが創れる。編集にいたってはどの学校にもあるウィンドウズパソコンに最初からインストールされているムービーメーカーというソフトを使えば簡単に編集ができる。

○撮影風景



5人1グループの班編制で制作を行った



泥棒役と警察役に衣装や小物で変装



家庭的な雰囲気は合宿所を使用



窓際は自然光で綺麗に撮影できる

○撮影場所の交通整理

学校中いつでもどこでも撮影できるわけではないので、本番撮影の1週間前に撮影希望調査表に記入させ、部屋を管理する教員に許可をもらう。図書館や、体育館、合宿所など公共の施設でとりわけ回りへの配慮を最優先することとした。また屋上や校門付近は安全面から必ず教員同伴で撮影を行った。（撮影計画表↓）

撮影計画表 映像概論 5月13日(月) 体育祭終了時までに各組記入してください											
	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
5限											
6限											
7限 15分・15分 撮影会											

編集

撮影も後半に入ってくると同時進行で編集作業も行うことになる。例えば教室での撮影希望班が多い時には話し合いで最も効率の良い撮影計画を生徒同士で話し合わせる。その日の天候、各自の放課後のスケジュールなどを照らし合わせ、撮影優先の班と仮編集を先に行う班というようにお互いにうまく交渉する。このようなブ

作 品上映・講評会

5/10	写真科でビデオ撮影(約25分)	みんなが頑張って撮った映像を見て、感動して涙が出た。	授業中・月付けはパンチリ □今日のテーマに熱心を持った □自分の考えを主張した □協力したり、褒め合うことができた □今日は満足だった！ ()	いいい感想です □いい質問です □行動にうつそう □面白いコメントです □もう少し暑くこらねばならぬ 
5/17	unicef 撮影 (監督・カメラマン)	みんなで協力して、素敵な映像を作ることができた。とても楽しかった。	授業中・月付けはパンチリ □今日のテーマに熱心を持った □自分の考えを主張した □協力したり、褒め合うことができた □今日は満足だった！ ()	いいい感想です □いい質問です □行動にうつそう □面白いコメントです □もう少し暑くこらねばならぬ 
5/24	unicef 撮影 (カメラマン・照明・音響)	みんなで協力して、素晴らしい映像を作ることができた。とても楽しかった。	授業中・月付けはパンチリ □今日のテーマに熱心を持った □自分の考えを主張した □協力したり、褒め合うことができた □今日は満足だった！ ()	いいい感想です □いい質問です □行動にうつそう □面白いコメントです □もう少し暑くこらねばならぬ 
6/1	unicef 撮影 (カメラマン・照明・音響)	みんなで協力して、素晴らしい映像を作ることができた。とても楽しかった。	授業中・月付けはパンチリ □今日のテーマに熱心を持った □自分の考えを主張した □協力したり、褒め合うことができた □今日は満足だった！ ()	いいい感想です □いい質問です □行動にうつそう □面白いコメントです □もう少し暑くこらねばならぬ 

おわりに

4